【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【公開番号】特開2018-12197(P2018-12197A)
【公開日】平成30年1月25日(2018.1.25)
【年通号数】公開・登録公報2018-003
【出願番号】特願2016-141121(P2016-141121)
【国際特許分類】
*Ｂ４１Ｍ　3/00　(2006.01)*
*Ｂ４２Ｄ　25/378　(2014.01)*
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｍ　3/00　Ｚ
Ｂ４２Ｄ　15/10　３７８

【手続補正書】
【提出日】令和1年5月13日(2019.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
前記第２印刷層が、ワックスの固形成分を４質量％以上２０質量％以下含有することを特徴とする請求項２に記載の多色印刷物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
〔実施形態２－３〕
図２（ｄ）は、第１印刷層をマゼンダ層３、第２印刷層をシアン層２とイエロー層４とし、第２印刷層と基材１との密着性が低い場合に、プラスチック消しゴムで擦過した後の状態を示している。マゼンダ層３とイエロー層４との密着性、基材１とシアン層２との密着性、基材１とイエロー層４との密着性はいずれも低い。よって、プラスチック消しゴムで擦過した際には、イエロー層４と、マゼンダ層３が積層されていない部位のシアン層２が除去され、マゼンダ層３と、マゼンダ層３が積層された部位のシアン層２が残る。よって、本実施形態では、マゼンダ層３、シアン層２とマゼンダ層３との積層体、の２色が混在した絵柄が情報として示される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
尚、本実施形態において、シアン層２とイエロー層４とは、印刷時に用いられるインキの組成が同じ、或いは近いため、密着性が高い。よって、基材１上にシアン層２或いはイエロー層４のみが積層されている部位と、シアン層２上にイエロー層４が積層された部位とでは、プラスチック消しゴムで擦過した際に、前者の部位が優先的に除去され、その後

に、後者の部位が除去される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
〔実施形態２－４〕
図２（ｅ）は、第１印刷層をシアン層２とマゼンダ層３、第２印刷層をイエロー層４とし、第２印刷層と基材１との密着性が低い場合に、プラスチック消しゴムで擦過した後の状態を示している。シアン層２とイエロー層４との密着性、及びマゼンダ層３とイエロー層４との密着性は、いずれも低く、基材１とイエロー層４との密着性も低い。よって、プラスチック消しゴムで擦過した際には、イエロー層４は全て除去され、マゼンダ層３とシアン層２とが残る。よって、本実施形態では、シアン層２、マゼンダ層３、シアン層２とマゼンダ層３との積層体、の３色が混在した絵柄が情報として示される。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３６】
〔実施形態２－５〕
図２（ｆ）は、第１印刷層をシアン層２とイエロー層４、第２印刷層をマゼンダ層３とし、第２印刷層と基材１との密着性が低い場合に、プラスチック消しゴムで擦過した後の状態を示している。シアン層２とマゼンダ層３との密着性、及び基材１とマゼンダ層３との密着性は低い。よって、プラスチック消しゴムで擦過した際には、イエロー層４が積層されていない部位のマゼンダ層３は除去され、シアン層２とイエロー層４は全部残り、イエロー層４が積層された部位のマゼンダ層３が残る。よって、本実施形態では、シアン層２、イエロー層４、シアン層２とイエロー層４との積層体、マゼンダ層３とイエロー層４との積層体、シアン層２とマゼンダ層３とイエロー層４との積層体、の５色が混在した絵柄が情報として示される。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
〔実施形態２－６〕
図２（ｇ）は、第１印刷層をマゼンダ層３とイエロー層４、第２印刷層をシアン層２とし、第２印刷層と基材１との密着性が低い場合に、プラスチック消しゴムで擦過した後の状態を示している。基材１とシアン層２との密着性が低いため、プラスチック消しゴムで擦過した際には、マゼンダ層３或いはイエロー層４が積層されていない部位のシアン層２は除去され、マゼンダ層３とイエロー層４は全部残り、マゼンダ層３或いはイエロー層４が積層された部位のシアン層２が残る。よって、本実施形態では、マゼンダ層３、イエロー層４、シアン層２とイエロー層４との積層体、シアン層２とマゼンダ層３との積層体、マゼンダ層３とイエロー層４との積層体、シアン層２とマゼンダ層３とイエロー層４との積層体、の５色が混在した絵柄が情報として示される。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
〔実施形態２－１０〕
図３（ｄ）は、実施形態２－５と同様に、第１印刷層をシアン層２とイエロー層４、第２印刷層をマゼンダ層３とした場合であるが、本実施形態では、第２印刷層と基材１との密着性が高い場合に、プラスチック消しゴムで擦過した後の状態を示している。よって、シアン層２とマゼンダ層３との密着性は低いが、基材１とマゼンダ層３との密着性は高い。よって、プラスチック消しゴムで擦過した際には、シアン層２上に積層され、イエロー層４が積層されていない部位のマゼンダ層３が優先的に除去され、シアン層２と、イエロー層４と、基材１に直接接する部位及びイエロー層４が積層された部位のマゼンダ層３と、が残る。よって、本実施形態では、シアン層２、マゼンダ層３、イエロー層４、シアン層２とイエロー層４との積層体、マゼンダ層３とイエロー層４との積層体、シアン層２とマゼンダ層３とイエロー層４との積層体、の６色が混在した絵柄が情報として示される。